

平成26年度 学校法人関西大学 予算の概要

— 次世代グローバルリーダーを育成 —

この伝統を、超える未来を。



学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 予算編成の概要

平成26年度予算は、平成26年3月27日開催の理事会において承認されました。

関西大学は、平成20年に策定した長期ビジョンに基づく10年間の長期行動計画を推進する中で、教育、研究、社会連携、国際化などの多様な分野において、その中核を担う有為な人材を輩出するため、たゆまぬ改革に取り組んできました。さらに、平成25年5月には、後期5年間の計画内容と遂行体制の中間見直しを踏まえ、改訂版を公表しております。

本予算は、高等教育への期待がますます高まるなか、「2010プロジェクト」に取り組んだ本学が、目指す将来像の実現に向け、総合学園としての真価を発揮するべく、必要な諸施策を盛り込んで編成いたしました。

平成26年度は、本学のグローバル化をさらに進展させ、未来への飛躍を実現する「次世代グローバルリーダー」の育成を推進するため、「関西大学ならではの強みと特色」を活かした、全学的な国際化教育プログラムとなる「関西大学グローバルフロンティア(KUGF)」プログラムを新たに開設します。学生の海外留学の促進と世界各国からの留学生受入れの拡大を図るなど、キャンパスの国際化の実現を目指します。

また、本学は2年後の平成28年に創立130周年を迎えます。「伝統への自信 未来への考動 ～『学縁』を世界に広げよう～」をコンセプトに、「国際性」、「知性と先進性」、「歴史と伝統」の3つをテーマにした、5つの記念事業を計画しており、「この伝統を、超える未来を。」をキャッチコピーに、130周年の佳節にふさわしい記念事業と募金事業を推進してまいります。

平成26年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

平成26年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

ア 全学的な入学前教育プログラムの検証と改善

高大接続パイロット校推薦入学制度及びSF入試制度の改革を契機として、これまで学部が独自に行っていた入学前教育プログラムを検証し、全学的な見地から「教育の質保証」を企図した新たな入学前教育プログラムを開発し、導入します。

イ 修学支援及び学生相談体制の整備

学生相談全体のハブ機能を強化するため、全学に分散する他の相談窓口との連携・協力システムの整備・充実を図ります。

また、学生の今日的な課題を踏まえ、学生をサポートするための研修などに取り組めます。



ウ 人間健康研究科修士課程の開設

平成25年10月31日付で文部科学省の認可を受けた人間健康研究科修士課程を平成26年度に開設しました。

高度専門職としての健康運動指導者や体育スポーツの指導者、地域福祉の実践者の育成、あるいは学際的かつ実践的視野を持った研究者の育成を目指します。

エ 「次世代グローバルリーダー」育成に向けた全学的な国際化教育プログラムの開設

新たな国際化教育プログラムとなる「関西大学グローバルフロンティア (KUGF)」プログラムを開設し、必要な語学力の修得とグローバル人材に必要な知識・経験を積むなど留学に特化した教育体制を推進します。また、本学が単位互換の協定を結んでいるASEAN諸国をはじめ、欧州・北中米などの大学への留学を促進します。

オ イノベーション創出に向けた産学官連携事業の推進

本学がハブとなって産学官の橋渡しを行い、国際的な課題解決や地域に密着した多様な連携の創出を図り、総合大学の利点を活かした、特色あるイノベーションの創出モデルを示します。また、平成25年度に梅田の「ナレッジキャピタル」に開設した「関西大学うめきたラボラトリ」においても、企業等との連携・研究の機会を創出し、さらなる産学官連携の高度化を目指します。

関西大学うめきたラボラトリ



カ 携帯情報端末に対応した無線LANの増強などの継続的な整備

スマートフォンやタブレットPCなど次世代の携帯情報端末利用者の急速な拡大に対応するため、全キャンパスでの無線LANアクセスポイントを増強します。さらにネットワークへの接続手順をより簡素化するなど、利用者の利便性の向上を図ります。

キ キャリア形成及び就職支援の充実

複数キャンパス化及び各学部・研究科の特性に対応したキャリア形成・就職活動支援プログラムを推進します。また、学生一人ひとりの勤労観・職業観を育成し、自らのキャリア

を自ら決定できる力を育むよう、キャリア形成を支援するとともに、就職活動の後ろ倒しに伴う、早期キャリア教育の充実を図ります。加えて、多様なニーズに応じた各種就職支援 행사를全学的に展開します。

また、社会から求められる「ビジネスリテラシー」と「グローバルリテラシー」を涵養するため、下位年次対象の海外ビジネス体感プログラムをはじめとした国際インターンシッププログラムの充実など、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指したキャリアプログラムの充実を図ります。

大学院生（専門職大学院・後期課程修了生を含む。）に対しては、外部の専門機関との連携も視野に入れた就職支援体制を強化します。

この他にも、各学部・大学院における教育改革、教育・研究の充実に係る人的基盤の強化、各界で活躍中の方々を客員教授として招聘するなど、教育研究の質の向上のための様々な施策を推進いたします。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 第4学舎第2実験棟建替工事

平成25年11月に着工した第4学舎第2実験棟が、平成26年9月に竣工します。

新たな実験棟は、建築面積806.99㎡、延床面積約3,901.71㎡、鉄骨造・鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建てで建設し、地下1階に廃液処理場や分析測定室、1・2階を研究室ゾーンとして個人研究室等8部屋、研究室6部屋、3・4階を実験ゾーンとして教育用化学実験場を設置します。また、壁面には屋外ルーバーを使用するなど環境フィルターを設置し、景観を創出しつつ省エネ効率を高めます。

第4学舎第2実験棟 イメージパース



イ 第3学舎耐震改修及びリノベーション工事

第3学舎1号館の耐震改修を行い、合わせて学舎全体のリニューアルを年次計画で行います。

平成26年度は、1号館の耐震改修工事のほか、1号館・2号館において、現行のカリキュラム体系に即したゼミ教室の拡充やAV設備の更新など教育環境の整備、エレベータの更新、マイクロコージェネレーションシステムを導入した自家発電の機能の確保、その排熱を利用した空調設備の設置、照明のLED化など省エネを目的としたリニューアルを行います。

ウ 第4学舎耐震改修及びリノベーション工事

第4学舎1号館及び2号館（研究棟）の耐震改修工事及びリニューアルを年次計画で行います。加えて学舎狭小化に伴う既存2号館（実験棟）の取り壊しを行い、新棟建築を行うほか、イノベーションハブの計画を検討するなど、教員と学生が一体となって研究活動が行える環境の整備に取り組みます。

平成26年度は、2号館（研究棟）で、耐震改修工事（2年計画）やエレベータの更新、マイクロコージェネレーションシステムを導入した自家発電の機能の確保、その排熱を利用した空調設備の設置、照明のLED化、屋上防水の劣化改修や省エネを目的としたリニューアルを行います。

3 収支予算書

予算時も年度末財政をよりわかりやすく

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『消費収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『消費収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、消費収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。その年度の予算における消費収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、基本金、消費収支差額をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をよりわかりやすくするために『予想貸借対照表』を作成しています。具体的には、平成24年度決算の『貸借対照表』に平成25年度補正後予算を加味して平成25年度末とし、さらに平成26年度予算を加味して平成26年度末の財政状態を予想したものです。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

平成26年度資金収支予算は、12頁に掲載の『資金収支予算書（総括）』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、549億1,800万円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、529億6,800万円となりました。この結果、差し引き19億5,000万円を前年度繰越支払資金111億8,500万円に加え、次年度繰越支払資金は131億3,500万円となりました。

(2) 消費収支予算について

平成26年度消費収支予算は、12頁に掲載の『消費収支予算書（総括）』のとおりです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、手数料、補助金などの法人に帰属する収入で、488億5,200万円となり、対前年度比較で2億6,100万円の減となりました。基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、31億7,400万円となり、対前年度比較で2億7,400万円の減となりました。帰属収入から基本金組入額を控除して消費支出に充当することができる消費収入は、456億7,800万円となり、対前年度比較1,200万円の増となりました。

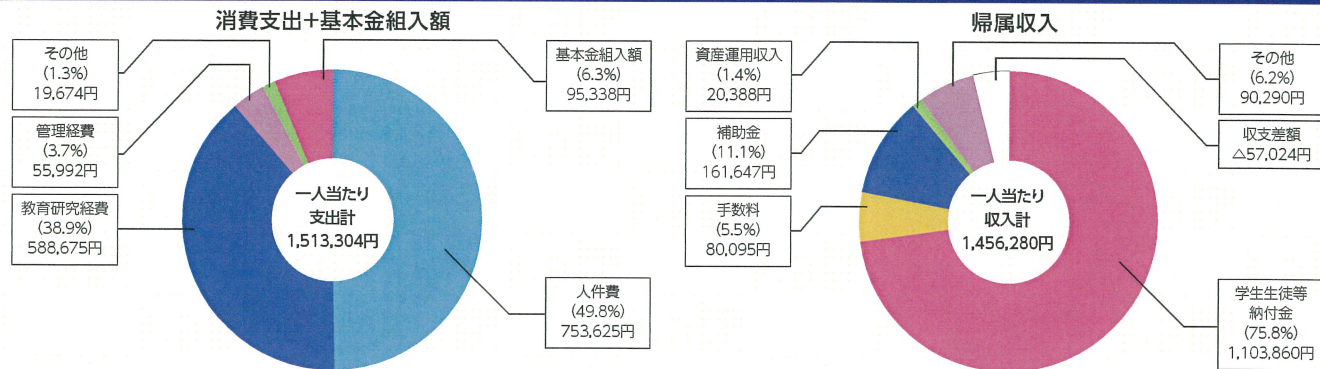
消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、475億9,100万円となり、対前年度比較で6億7,200万円の増となりました。平成26年度予算における消費収支の均衡状況をあわす消費収支差額は、19億1,300万円の支出超過となり、対前年度比較で6億6,000万円の増となりました。この結果、次年度へ繰越することになる繰越消費支出超過額は、前年度からの繰越消費支出超過額421億8,800万円に、当年度消費収支差額19億1,300万円を加え、基本金取崩額を差し引いて438億100万円となりました。

また、この累積消費支出超過額の外に、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が81億8,800万円あり、この2つを合わせた519億8,900万円が実質上の繰越消費支出超過額となります。

なお、平成26年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

平成26年度 消費収支予算における「学生生徒等一人当たりの支出とこれを賄う収入」



(注) 1 (消費支出+基本金組入額)及び帰属収入の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,546人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。

2「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括) 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位: 千円)

支出の部				収入の部			
科 目	26年度予算	25年度予算	増減	科 目	26年度予算	25年度予算	増減
1 人件費支出	25,166,252	24,873,344	292,908	1 学生生徒等納付金収入	37,054,317	37,136,171	△ 81,854
2 教育研究経費支出	13,824,681	13,735,482	89,199	2 手数料収入	2,697,660	2,595,380	102,280
3 管理経費支出	1,700,762	1,701,322	△ 560	3 寄付金収入	600,000	390,000	210,000
4 借入金等利息支出	80,218	102,296	△ 22,078	4 補助金収入	5,427,617	5,996,441	△ 568,824
5 借入金等返済支出	1,037,090	851,470	185,620	5 資産運用収入	682,428	605,200	77,228
6 施設関係支出	5,434,332	4,587,859	846,473	6 資産売却却収入	600,000	32,351	567,649
7 設備関係支出	1,028,492	2,633,591	△ 1,605,099	7 事業収入	1,001,792	1,050,644	△ 48,852
8 資産運用支出	2,824,809	4,564,013	△ 1,739,204	8 雑収入	1,255,555	1,221,340	34,215
9 その他の支出	3,202,120	3,554,634	△ 352,514	9 借入金等収入	2,000,000	2,116,000	△ 116,000
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受金収入	6,253,873	6,234,786	19,087
11 資金支出調整勘定	△ 1,831,086	△ 1,839,949	8,863	11 その他の収入	4,458,613	4,122,209	336,404
(小計)	(52,967,670)	55,264,062	△ 2,296,392)	12 資金収入調整勘定	△ 7,113,570	△ 8,104,483	990,913
12 次年度繰越支払資金	13,135,453	11,184,838	1,950,615	(小計)	(54,918,285)	53,396,039	1,522,246)
				13 前年度繰越支払資金	11,184,838	13,052,861	△ 1,868,023
支出の部 合 計	66,103,123	66,448,900	△ 345,777	収入の部 合 計	66,103,123	66,448,900	△ 345,777

(注)「25年度予算」は第3次補正後予算を示す。

消費収支予算書(総括) 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位 千円)

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	26年度予算	25年度予算	増 減	科 目	26年度予算	25年度予算	増 減
1 人件費	25,265,615	24,735,196	530,419	1 学生生徒等納付金	37,054,317	37,136,171	△ 81,854
2 教育研究経費	19,770,824	19,505,339	265,485	2 手数料	2,697,660	2,595,380	102,280
3 管理経費	1,882,391	1,932,757	△ 50,366	3 寄付金	728,000	508,000	220,000
4 借入金等利息	80,218	102,296	△ 22,078	4 補助金	5,427,617	5,996,441	△ 568,824
5 資産処分差額	92,181	143,615	△ 51,434	5 資産運用収入	682,428	605,200	77,228
6 徴収不能引当金繰入額	0	0	0	6 資産売却差額	4,994	643	4,351
7 徴収不能額	0	0	0	7 事業収入	1,001,792	1,050,644	△ 48,852
8 予備費	500,000	500,000	0	8 雑収入	1,255,555	1,221,340	34,215
				帰属収入合計	48,852,363	49,113,819	△ 261,456
				基本金組入額合計	△ 3,174,070	△ 3,447,979	273,909
消費支出の部合計	47,591,229	46,919,203	672,026	消費収入の部合計	45,678,293	45,665,840	12,453
合 計	47,591,229	46,919,203	672,026	当年度消費支出超過額	1,912,936	1,253,363	659,573
当年度消費支出超過額	1,912,936	1,253,363	659,573	合 計	47,591,229	46,919,203	672,026
前年度繰越消費支出超過額	42,187,722	40,934,359	1,253,363				
基本金取崩額	300,000	0	300,000				
翌年度繰越消費支出超過額	43,800,658	42,187,722	1,612,936				

(注)「25年度予算」は第3次補正後予算を示す。

予想貸借対照表 平成27年3月31日

(単位 千円)

科 目	26年度末	25年度末	増 減
資産の部			
固定資産	195,991,360	194,191,045	1,800,315
有形固定資産	114,848,712	114,466,825	381,887
その他の固定資産	81,142,648	79,724,220	1,418,428
流動資産	14,508,223	13,948,903	559,320
資産の部 合 計	210,499,583	208,139,948	2,359,635
負債の部			
固定負債	20,138,384	19,163,241	975,143
流動負債	9,809,609	9,686,251	123,358
負債の部 合 計	29,947,993	28,849,492	1,098,501

科 目	26年度末	25年度末	(単位 十円) 増 減
基本金の部			
第1号基本金	201,091,310	197,996,748	3,094,562
第2号基本金	100,000	400,000	△ 300,000
第3号基本金	19,905,938	19,875,430	30,508
第4号基本金	3,255,000	3,206,000	49,000
基本金の部 合 計	224,352,248	221,478,178	2,874,070
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	△ 43,800,658	△ 42,187,722	△ 1,612,936
消費収支差額の部 合 計	△ 43,800,658	△ 42,187,722	△ 1,612,936
負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部 合 計	210,499,583	208,139,948	2,359,635